

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉行財政と福祉計画			(社・精) 必修 (発) 選択	2	3.4	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
宮村 りさ子		B312	risako.miyamura		木曜日 11:00～12:30	
授業の目的・概要		<p><目的>日本の社会福祉政策を实践させるため福祉行政執行体制、福祉財源、福祉行政の専門職の構造及び機能の基礎的知識を修得する。また、福祉計画の基礎的知識について理解することを目的とする。 <概要>日本の社会福祉行政、国や地方公共団体などの行政組織と福祉財政、福祉計画の目的と意義などについて、教科書や資料をもとに対面講義を中心に行う。グループワークなどのディスカッション、発表などアクティブラーニングを活用した授業も行うことで理解を深める。</p>				
授業形式・方法		<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	
学習上の助言		福祉行財政と福祉計画をしっかりと理解するために、事前に教科書を精読し専門用語や内容について予習する。また、授業時に理解できなかった専門用語や授業内容については、教科書や辞書などを使って理解できるように復習して欲しい。				
教科書		新 社会福祉士養成講座 10 福祉行財政と福祉計画 第 5 版/編:社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版				
参考書		教科書以外の資料は別途配布する。参考図書は授業時に適宜紹介する。				
外部教材		なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	福祉行財政の目的と意義を理解し、説明できる。			HSU(1)、WP(3)(5)		
②	福祉行政の仕組みや運営方法を理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(3)(5)		
③	各行政体レベルでの社会福祉計画策定の意義と考え方などを理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(1)(2)(3)(5)		
④	福祉計画の理論と技法について理解し、説明できる。			HSU(1)(3)、WP(1)(2)(3)(5)(6)		
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法など) 福祉行財政と福祉計画の概要について説明する。	講義	シラバスや教科書を読み、全体像を把握する。 4			
2	福祉行財政と福祉計画①「福祉と制度」について学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。 4			
3	福祉行財政と福祉計画②「福祉の法制度の展開」「福祉計画の概要」について学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。 4			
4	福祉行政①「行政の骨格」「社会福祉と法制度」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。 4			
5	福祉行政②「福祉行政の組織」「社会福祉基礎構造」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。 4			
6	福祉財政①「財政と社会福祉」「一般会計予算と社会保障関係費の動向」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。 4			
7	福祉財政②「地方自治体の財政と民生費の動向」「民間社会福祉事業の財源」「福祉サービスの利用と費用負担」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。 4			
8	「福祉行政の組織/団体と専門職の役割」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。 4			
9	「福祉計画の目的と意義」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。 4			
10	福祉計画の理論と技法①「福祉計画の基本的視点」「福祉計画の過程と留意点」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。 4			
11	福祉計画の理論と技法②「福祉計画におけるニーズ把握」「福祉計画における評価」「福祉計画における住民参加」を学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。 4			
12	福祉計画の実際①「各分野の福祉計画について」学ぶ。	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。 4			
13	福祉計画の実際②「福祉計画を実際に立てる(1)」に取り組む。	GW 討論/発表	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。 4			
14	福祉計画の実際②「福祉計画を実際に立てる(2)」に取り組む。	GW 討論/発表	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要内容を理解する。 4			
15	講義全体の振り返り	講義	該当箇所の教科書を読み専門用語や重要な内容を知る。 4			
試	定期試験の実施 / 達成度評価や評価のポイントを参照する。					

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

		達成度評価						
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		50	0	40	0	10	100	
総合力指標	知識・技術力	40	0	5	0	0	45	
	思考・推論・創造する力	10	0	10	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5	
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5	
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	10	15	
	問題を発見・解決する力	0	0	5	0	0	5	
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					フィードバックの方法	
試験	①	✓	期末試験では行動目標①～④について正誤を判断する問題形式で出題する。出題方法は選択肢ならびに記述式の問題で構成され、行動目標①～④に関する達成度についても総合的に評価できるように出題する。					正答や模範解答を公表する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①		第 13 回、第 14 回の「福祉計画の実際②」「福祉計画を実際に立てる(1)」「福祉計画を実際に立てる(2)」についてグループワークを実施し、グループで考えや意見をまとめて発表する。					第 15 回の授業時に口頭でフィードバックする。
	②	✓						
	③							
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	授業終了時にリアクションペーパーに感想や意見などを書いてもらう。その内容によって取り組む姿勢や意欲と判断する。					次回の授業の初回に、フィードバックする。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員								
教員の実務経験								
実践的授業の内容								
そ の 他	1) 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 2) 社会福祉士国家資格取得希望者は必須科目につき必ず履修すること。 3) 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。							